



令和 8 年 7 月 13 日

海事局総務課国際企画調整室

IMO がホルムズ海峡の通航に通航料・手数料が課されないことを再確認 ～国際海事機関（IMO）第 137 回理事会の開催結果概要～

国際海事機関（IMO）は、令和 8 年 7 月 6 日から 10 日まで開催された第 137 回理事会において、国際海峡を含む海上航路における航行の自由の確保、差別的措置の撤廃、国際法の遵守を求める決議を採択し、ホルムズ海峡の通航は、国際法に従い、いかなる通航料も手数料も課されないままであることを再確認しました。

IMO 理事会は、2 年毎に選出される 40 の理事国により、船舶・船員の安全や環境に関する主要事項や、IMO の運営に関する諸事項を審議します。我が国は、1958 年の IMO 加盟以来、一貫して理事国に選出されており、理事会の審議に積極的に参画・貢献しています。

今次理事会の日程及び主な議題は以下の通りです。

【会議日程】

2026 年 7 月 6 日～10 日（於 英国ロンドン・IMO 本部）

【主な議題】

1. 重要な海上航路の保護（ホルムズ海峡の通航関係など）
2. IMO 各委員会からの報告
3. IMO 財務状況の報告
4. IMO オブザーバーNGO の加盟審査
5. 国際海事賞、海事勇敢賞受賞者の審査

それぞれの主な審議結果は別紙をご参照ください。

【問い合わせ先】

海事局総務課国際企画調整室 岩城、池田

代表：03-5253-8111（内線 45-601、44-403）、直通：03-5253-8656



IMO 第 137 回理事会 主な審議結果

1. 重要な海上航路の保護（ホルムズ海峡の通航関係など）

我が国を含む多数国が、航行の自由が国際海運の根本原則であること、船舶及び船員の安全確保が死活的に重要であること、ホルムズ海峡の通航は従来通り追加的な費用を課されるべきでないこと、を強調の上、ペルシャ湾内に留め置かれている船舶の安全な避難及びその後の安定的な通航の再開に向け、全ての関係国に対して IMO への協力を呼びかけました。

これら議論を踏まえ、理事会は、国際海峡を含む海上航路における航行の自由の確保、差別的措置の撤廃、国際法の遵守を求める決議を採択し、ホルムズ海峡の通航は、国際法に従い、いかなる通航料も手数料も課されないままであることを再確認しました。また、IMO 事務局長は、ペルシャ湾内に留め置かれている船舶の安全な避難及びその後の安定的な通航の再開に向けて引き続き関係国との協議に取り組むと表明しました。

2. IMO 各委員会からの報告

理事会は、本年 3 月～6 月にかけて開催された IMO の各委員会（簡易化委員会、法律委員会、海洋環境保護委員会、海上安全委員会、技術協力委員会）からの報告を審議しました。審議の結果、国際海運からの温室効果ガス排出ネットゼロに向けた中期対策の策定や、メタノール等の新燃料に対応した安全基準の改訂など、IMO の重要事項を集中的に審議するための追加会合の設置を承認しました。

3. IMO 財務状況の報告

理事会は、2025 年の IMO 財務報告書及び 2026 年 4 月末時点の IMO 財務状況報告書を審議しました。審議の結果、いずれについても当初予算額の範囲内で計画通りの活動を実施したと認められ、これら報告書を承認しました。

4. IMO オブザーバーNGO の加盟審査

IMO では、176 の加盟国・地域のほか、海事分野の専門的事項に精通し、理事会の承認を得た非政府機関（NGO）がオブザーバーとして会議に参加しています。今次理事会では、新たにオブザーバー申請のあった 12 団体を審査した結果、以下の 4 団体を新たに IMO オブザーバーNGO として承認しました。

- （１）オーシャン・ファウンデーション（２年間の時限付き暫定承認）
- （２）インターナショナル・エレクトリック・マリタイム・アソシエーション
- （３）マースクゼロカーボン SHIPPING センター
- （４）シー・エルエヌジー

5. 国際海事賞、海事勇敢賞受賞者の審査

IMO は、毎年、国際海事分野に対して長年にわたり顕著に貢献した人物に「国際海事賞」を、海難救助等において卓越した勇気と能力を発揮した人物・団体に「海事勇敢賞」を授与しています。受賞者は、各国からのノミネートを踏まえ、理事会が審査します。今次理事会では、以下の通りそれぞれ受賞者を決定しました。

- | | |
|---------|------------------------------------|
| ＜国際海事賞＞ | ジェフェリー・ランツ氏（米国） |
| （同・表彰状） | ピーター・ブラディ氏（ジャマイカ） |
| ＜海事勇敢賞＞ | アドリアン・ブラスク氏（故、ノルウェー） |
| （同・表彰状） | フィリピン沿岸警備隊・警備艇乗組員（フィリピン）他 1 団体 |
| （同・感謝状） | 瀬野汽船保有 LNG SATURN 乗組員（日本）他 10 名・団体 |

以 上